

平成23年度当初予算

主 要 事 業

福 井 県 教 育 委 員 会

～ 事業内容の見方について ～

1. 事業名称の先頭に

「**新**」とあるのは、23年度当初予算の新規事業です。

「**拡**」とあるのは、23年度当初予算において事業内容の拡充を行った事業です。

2. 予算額の欄に

「雇用基金事業」とあるのは、緊急雇用創出事業臨時特例基金を活用して実施する事業です。

I 経済・雇用対策

予 算 額
(単位：千円)

1 雇用対策

◇学生の就職支援の強化

<p>㊦ 県立高校生就職緊急支援事業（教育庁高校教育課） 教員の企業訪問等による求人確保や、企業の採用経験者等を就職支援コーディネーターとして配置するなど、県立高校生の就職を支援します。</p> <p>事業内容 県立高校（25校）への就職支援コーディネーター（38人）の配置 ㊦ 特別支援学校への就職支援指導員（5人）の配置 求人確保や内定の取消防止に対する企業への要請 インターンシップの実施 未内定のまま卒業した生徒に対する就職相談</p> <p>事業期間 21～23年度</p>	<p>4,190 雇用基金事業 (100,552)</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------

2 県民生活の安心確保

◇安全・安心

施設等の耐震化促進事業

福井県建築物耐震改修促進計画に基づき、県有施設の耐震化を進めます。

<p>県立学校の耐震化（教育庁学校教育振興課）</p> <p>耐震補強計画・実施設計策定 10棟 耐震補強工事 6棟 ※22年度2月補正で2棟を前倒し実施</p>	<p>1,458,424</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------

Ⅱ 福井新元気宣言の実現

予 算 額
(単位：千円)

1 元 気 な 社 会

(1) 未来を託す教育・親しみ楽しむ県民文化

◇ 「ていねいな教育」と「きたえる教育」

元気福井っ子新笑顔プラン事業（教育庁学校教育振興課、義務教育課）

3,420,899

小・中学校における県独自の少人数学級編制基準等を定めた「新笑顔プラン」を推進し、中学校2・3年生の編制基準を33人から32人に引き下げます。なお、国の制度改正を受けて小学校1年生については35人学級とし、30人を超える学級にはプランに基づき県独自で非常勤講師を配置します。

<新笑顔プラン>

小 学 校	学年	学級編制基準			中 学 校	学年	学級編制基準		
		19年度	22年度	23年度			19年度	22年度	23年度
小 学 校	1年	40人	40人	35人	中 学 校	1年	30人	30人	30人
	2年	40人	40人	40人		2年	36人	33人	32人
	3年	40人	40人	40人		3年	36人	33人	32人
	4年	40人	40人	40人					
	5年	40人	36人	36人					
	6年	36人	36人	36人					

※ 小学校の30人を超える学級について、3年生以上は教員の増員、1・2年生は非常勤講師（小学校低学年学校生活サポート）を配置

配置教員数（23年度） 教員 444人、非常勤講師 160人
事業期間 20～23年度

元気ふくいっ子学力向上推進事業（教育庁義務教育課）

12,171

県独自の学力テストを実施し、子どもたちの応用力を伸ばします。また、授業名人など学校の中核となる教員の公開授業などを通して、若手教員の指導能力を高めます。

事業内容 県学力調査の実施

（小学校5年生と中学校2年生の全員が対象、県独自の応用問題を作成）

授業名人や中核教員による公開授業等の実施（全研究指定校28校）

事業期間 22～26年度

外国語指導助手配置事業（教育庁高校教育課、義務教育課）

443,462

外国語指導助手（ALT）を配置して、中学生・高校生に生きた外国語に接する機会を提供し、国際社会の中で活躍できる人材を育成します。

配置人数 83名（高校35名、中学校47名、県教育委員会1名）

奥越明成高校環境整備事業（教育庁学校教育振興課） 194,282

23年4月に開校する奥越明成高校において、カリキュラムに応じた施設・設備の整備を引き続き行います。

事業内容 機械科棟の改修、耐震化（144,720千円）

プログラム実習室の整備等（49,562千円）

事業期間 22～24年度

財 源 電源交付金

㊦ 不登校対策事業

不登校の未然防止や不登校児童・生徒の早期学校復帰、高校中退者等の高校卒業資格の取得支援など、きめ細かな対策を実施します。

(1) ㊦ スクールカウンセラー配置事業（教育庁高校教育課、義務教育課） 97,976

臨床心理士等を配置し、児童・生徒の心の悩み相談に対応します。

配置校 ㊦ 小学校（21校→45校 配置数48人→60人）

中学校（全校配置74校）

定時制高校（全校配置7校）

※ 全日制高校については、専任教員を配置済

財 源 県2/3 国1/3

(2) ㊦ スクールソーシャルワーカー配置事業（教育庁高校教育課、義務教育課） 14,634

社会福祉士等を配置し、不登校等の児童・生徒の家庭環境への働きかけを実施します。

配置場所 ㊦ 小中学校（9市→全市町 配置数10人→12人）

定時制高校（全校配置7校）

※ 全日制高校については、専任教員を配置済

財 源 県2/3 国1/3

(3) フリースクール支援事業（教育庁教育政策課） 1,000

高卒資格取得が可能なフリースクールを支援し、高校中退者等の自立促進を図ります。

事業内容 NPO法人等が運営するフリースクールの野外活動・体験活動やスクールカウンセラー配置の経費等への助成

補助限度額 100万円

事業期間 22～24年度

◇いつでも身近に福井の文化

ふれあい文化子どもスクール開催事業（教育庁文化課） 31,422

県内の小学校5年生（約8千人）を対象に、本格的な参加体験型コンサートと併せて県立文化施設での体験授業を行い、子どもたちの感性や豊かな心を醸成し、福井の文化やふるさとに対する理解と関心を高めます。

事業内容 オーケストラとのふれあいコンサート

開催場所 県立音楽堂

出演者 プロオーケストラ、本県出身若手演奏家等

文化施設での体験授業

対象施設 美術館、歴史博物館、こども歴史文化館、恐竜博物館等

事業期間 22～24年度

<p>ふくい県民総合文化祭開催事業（教育庁文化課）</p> <p>県民が広く文化・芸術に親しみ、楽しみ、学ぶことができるよう、日ごろの文化活動の成果を発表する機会を提供し、県民の文化への関心を高めます。</p> <p>事業内容 ふれあいフェスティバルの開催等</p>	13,554
<p>歴史・文化のまちづくり事業（教育庁文化課）</p> <p>地域の中核的な文化財の整備を集中的に進めることにより、地域の文化遺産を活かした個性的で魅力あるまちづくりを支援します。</p> <p>事業内容 史跡等の保全・整備（一乗谷朝倉氏遺跡、白山平泉寺、明通寺） 重要伝統的建造物群保存地区整備（小浜市小浜西組、若狭町熊川宿）</p>	57,282
<p>芸術文化活動推進事業（教育庁文化課）</p> <p>先進的・創造的な芸術文化活動や地域独自の文化を保存・活用する活動を支援し、文化団体や担い手を育成します。</p> <p>事業内容 地域の特色ある文化を生かしたまちづくりの支援 子どもたちによる伝統文化の継承・保存や芸術文化の活動支援 若手活動者等が実施するヤングアートフェスティバルの支援 国内外に福井の文化を発信する事業の支援</p>	16,971

◇「みんながプレーヤー」と「世界を夢見るアスリート」の応援

スポーツふくいの推進

30年の第73回国民体育大会および第18回全国障害者スポーツ大会の開催に向け、競技力向上対策や開催準備を行います。今後、さらなる選手の強化や、会場の選定、会場となる施設の整備等を進めていきます。

<p>(1) 競技力向上対策事業（教育庁スポーツ保健課）</p> <p>国民体育大会や各種スポーツ大会に向けて、計画的に選手強化対策等を実施し、ジュニア層から指導者までを育成します。</p>	200,000
<p>(2) 国体開催準備事業（教育庁スポーツ保健課）</p> <p>国体準備委員会において、平成30年の第73回国民体育大会の開催に向けた準備・検討を進めます。</p>	6,481
<p>(3) 生涯スポーツ普及促進支援事業（教育庁スポーツ保健課）</p> <p>スポーツ体験教室の開催や実技講習会等の競技人口拡大に向けた活動を行う競技団体を支援します。（10グループ 補助限度額 10万円）</p>	1,000

<p>㊦ 24年度全国高等学校総合体育大会開催準備事業</p> <p style="text-align: right;">（教育庁スポーツ保健課、学校教育振興課）</p> <p>24年度に本県を含む北信越5県で開催される全国高等学校総合体育大会の開催に向け、実行委員会を設立し、準備・検討を進めます。</p> <p>本県開催種目 バドミントン、なぎなた、体操・新体操、ホッケー</p>	13,350
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------

(2) 女性活躍社会

◇日本一の子育て応援システム

放課後子どもクラブ応援事業（部局連携：教育庁義務教育課、健康福祉部子ども家庭課）

492, 147

放課後児童クラブと放課後子ども教室を「放課後子どもクラブ」として一体的に運営し、子どもが安心して放課後を過ごすことのできる環境を整備します。特に、小学校4年生以上や留守家庭以外の児童の受入れについて拡充して支援します。

	支援対象		通常の支援措置	4年生以上を受け入れた場合の支援措置
ソフト支援	クラブの運営経費の支援		県1/3 国1/3 市町1/3	1人あたり7.5千円(1/6相当)を追加支援 ※留守家庭以外の児童の受け入れを含む
ハード支援	新設	児童館活用型	県1/3 国1/3 市町1/3	県1/2 国1/3 市町1/6
		空き教室活用型		県2/3 国1/3 市町0
	拡充	児童館活用型	補助なし(市町10/10)	県1/2 国1/3 市町1/6
		空き教室活用型		県1/2 市町1/2